

平成27年度 教育事業
「親子チャレンジキャンプ in 阿蘇～サマーキャンプ編～」事業報告書

事業推進室長 加治佐秀樹

1 事業概要

- (1)実施期日 平成27年7月17日(土)～18日(日)
(2)活動場所 国立阿蘇青少年交流の家 マゼノの沢
(3)参加人数 54名
(4)事業内容

【1日目】

・沢のぼり体験 ・子育て講演会(保護者) ・わくわく忍者修行(子ども) ・絵本ヨガ

【2日目】

・野外調理

2 成果と課題

(1)成果

- ①沢登りでは、ゴールの滝で、参加者が一体となる場面(滝つぼに飛び込めない子へみんなで声かけ)があった。参加者は困難を乗り越えたことが自信にもつながり、体験活動の楽しさも感じたようだった。
- ②講師の先生が2日間に渡って帯同して下さったおかげで、参加者も職員も多くのことを学ぶことができた。
- ③保護者から「今までのことを考えると少し過保護すぎたかもしれません。うちの子もこんなにいろいろなことができるのですね。」などと実感されている声が多く聞かれた。
- ④大人・子どもを問わず、参加者から「まだ、いたい。楽しかった。」「スキーが楽しみ。」という声が聞かれた。
- ⑤初めての事業だったので手探りの状態ではあったが、参加者がとても満足していた。特に、学級レクリエーションや部活動、個人でも利用したいと言ってこられた家族もたくさんいて、利用増にもつながったと思われる。

(2)課題

- ①参加者への指示をもう少し細かくしなくてはいけなかった。昼の休憩を外輪山(西湯浦展望所)と案内したが、どのくらいの距離なのか、どのくらいの時間がかかるのかなどの細かな情報を伝えていなかった。
- ②夜のプログラム「子育て講演会」に参加していない保護者がいた。保護者への指導も徹底する必要がある。
- ③ボランティアが、指示がないとき進んで動くことが少なかったため、事前の打ち合わせや、夜のミーティングの時に動きを理解させる必要がある。
- ④事業参加団体を探すのに苦労した。今年度内に、参加団体を探し、打ち合わせしなど行い、来年度はスムーズに計画を立てていきたい。



【沢登りのポイントを目指す参加者】



【応援しながら沢登りに挑む参加者】



【ピザ作りの説明に耳を傾ける参加者】



【野外調理の様子】



【外で朝食を食べる参加者たち】